

令和2年度

村上市の財政決算報告

問い合わせ 企画財政課財務管理室 ☎53・2111 (内線3221) 記事ID 0062247

9月の市議会定例会で認定された令和2年度の決算概要と健全化判断比率・資金不足比率などについてお知らせいたします。決算は、予算に対してどれだけの収入と支出があったのか、またどのように使われたかをまとめたもので、議会に報告し、予算の使い方が適正であったかどうかの認定を受けます。

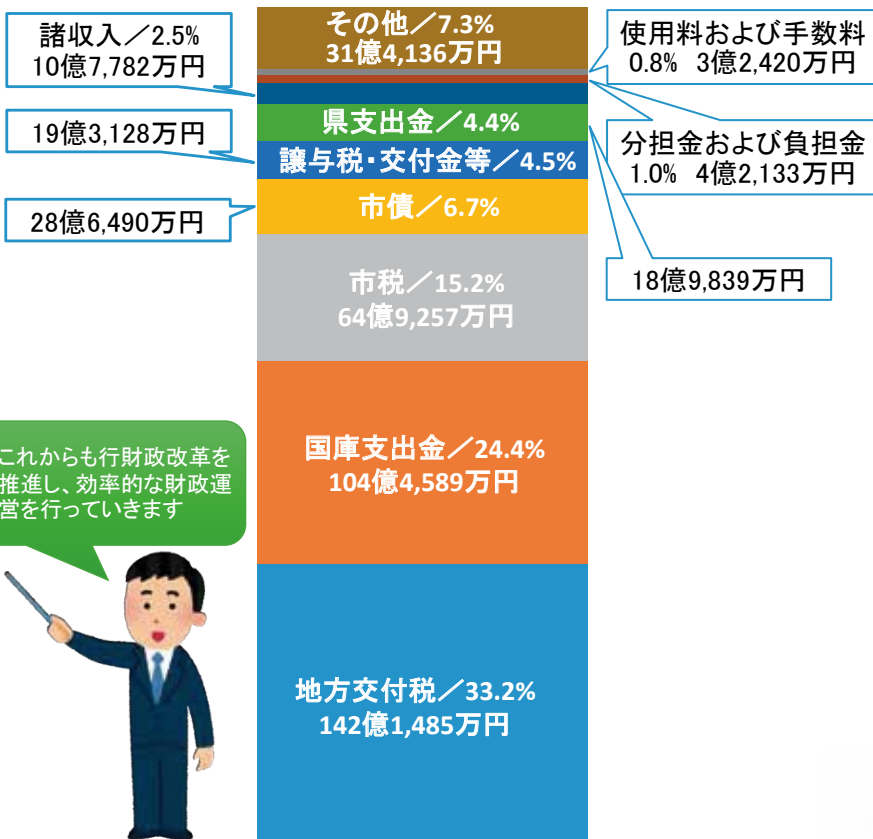
01 一般会計

令和2年度の一般会計は、歳入総額428億1,259万円、歳出総額428億1,615万円、差し引くと18億9,644万円となりました。その額から、翌年度へ繰り越すべき財源（繰越事業の財源）を差し引いた収支（実質収支）は、18億1,697万円となりました。

収入は主に地方交付税、国庫支出金が増加、市税、市債は減少

地方交付税が4億3,292万円、国庫支出金は特別定額給付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの増加のため75億6,537万円それぞれ増加しました。市税は市民税が55,499万円、固定資産税が27,519万円それぞれ減少し、市債は10億5,290万円減少しました。

歳入 428億1,259万円



これからも行財政改革を推進し、効率的な財政運営を行っていきます



村上市の家計簿



用語解説

- 歳入……………税金や地方交付税など市に入るお金
- 地方交付税……………市の財政状況に応じて国税の一部から交付されるお金
- 国庫支出金……………特定の事業の経費に充てるため、国から支出されるお金
- 市税……………市民税や固定資産税など市民の皆さんからの税金
- 市債……………国や金融機関などから借り入れるお金
- 譲与税・交付金等……………地方消費税の一部を人口などで案分して国から交付されたお金など
- 県支出金……………特定の事業の経費に充てるため、県から支出されるお金
- 諸収入……………保育園副食費など、収入のどの区分にも属さないお金
- 分担金および負担金……………保育園入園者負担金・学童保育利用料・各種検診負担金などによるお金
- 使用料および手数料……………各施設の使用料・証明手数料などによるお金

借入金を含めた収入総額は、前年度と比べて68億5969万円増加しました。

支出は主に総務費、土木費が増加、教育費は減少

総務費は新型コロナウイルス感染症対策に係る経費や特別定額給付金などにより59億5811万円増加、土木費は除排雪経費などにより8億9134万円増加しました。

教育費は学校統合に伴う施設整備事業や荒川地区公民館駐車場整備事業の完了などに伴い9億4873万円減少しました。

支出総額は前年度と比べて、64億4011万円の増加となりました。

市民1人当たりに使われたお金

民生費 162,423円



高齢者や福祉のサービス、保育園の運営、子育て支援などの支出

総務費 156,265円



庁舎の管理経費や情報通信事業への繰出金などの支出

土木費 91,691円



道路橋りょうの建設や下水道事業への繰出金などの支出

公債費 58,520円



市債（借入金）の返済金

衛生費 57,444円



予防接種・医療給付の助成や、ごみ処理場の建設・運営経費などの支出

教育費 53,930円



小・中学校の運営経費や生涯学習活動経費などの支出

農林水産業費 44,695円



農林水産業の振興のための経費などの支出

消防費 28,595円



消防本部や消防団の運営と消防施設の管理経費などの支出

商工費 28,432円



商工業や観光の振興のための経費などの支出

その他 25,591円



議会費・労働費・災害復旧費・諸支出金の支出

歳出

409億1,615万円

16億4,409万円

その他 / 3.6%

商工費 / 4.0%

消防費 / 4.0%

農林水産業費 / 6.3%

25億8,449万円

教育費 / 7.6%

31億1,851万円

衛生費 / 8.1%

33億2,169万円

公債費 / 8.3%

33億8,392万円

土木費 / 13.0%

53億203万円

総務費 / 22.1%

90億3,603万円

民生費 / 23.0%

93億9,209万円

14億7,981万円

16億5,349万円

市民1人当たり

707,586円

使われました

一般会計



用語解説

- 歳出……………各種経費など市から出ていくお金
- 民生費……………高齢者や障害者福祉、医療、子育てなど
- 総務費……………市役所の運営、まちづくり、防犯、選挙など
- 土木費……………道路、河川、公園の整備・管理など
- 公債費……………市の借金（市債）返済にかかる経費
- 衛生費……………検診、予防接種、ごみ収集・処理など
- 教育費……………学校教育、公民館、図書館、スポーツ振興など
- 農林水産業費…農業用施設、林道、農業振興など
- 消防費……………火災・災害への対応、救急活動など
- 商工費……………観光、産業振興、企業誘致など

02 特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合にその事業で得られる収入を主な財源として、事業に係る経費を支出するため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。

特別会計では、事業の実施にあたり必要な財源に不足が生じる場合には、一般会計や基金から資金の繰り入れをして財源の補てんを行っています。

03 公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、原則として独立採算制で運営される会計です。会計方法も他の会計と異なり、その年度の経営損益を示す「収益的収支」と、将来の経営に備えて行われる建設改良事業などの資本取引を示す「資本的収支」に区分した会計方法が用いられています。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額については、各事業会計の内部留保資金などで補てんされます。

04 健全化判断比率

財政の健全度を測る比率で、令和2年度は全てで基準を下回りました。また、監査委員の監査を受けて市議会に報告されています。

03 公営企業会計	収入	支出
上水道事業		
収益的	11億5,374万円	10億4,801万円
資本的	1億4,227万円	6億7,254万円
簡易水道事業		
収益的	3億3,208万円	3億2,797万円
資本的	1億4,804万円	2億5,964万円
下水道事業		
収益的	41億6,547万円	41億3,024万円
資本的	29億5,085万円	42億9,375万円

02 特別会計	歳入	歳出
土地取得	53万円	53万円
情報通信事業	4億1,563万円	4億 578万円
蒲萄スキー場	1,410万円	1,350万円
国民健康保険	62億1,433万円	59億8,344万円
後期高齢者医療	7億7,132万円	7億7,100万円
介護保険	79億7,704万円	78億1,323万円

用語の解説などは市ホームページをご覧ください

05 市債借入残高

一般会計の市債残高減少の要因として、学校統合に係る改修事業が完了したことなどにより借入額が減ったことなどがあげられます。

市債の発行により、次世代の人々にも費用を負担していただき、世代間の公平性を保っています。



05 市債借入残高	令和2年度末	令和元年度末
一般会計	338億3,767万円	342億2,678万円
情報通信事業	1,772万円	9,327万円
蒲萄スキー場	7,864万円	7,997万円
上水道事業	54億 423万円	56億5,847万円
簡易水道事業	18億6,692万円	20億3,792万円
下水道事業	331億2,783万円	348億8,737万円

■ 資金不足比率	(単位：%)		
	令和2年度	令和元年度	経営健全化基準
上水道事業会計	—	—	20.00
簡易水道事業会計	—	—	20.00
下水道事業会計	—	—	20.00

※水道事業や下水道事業などの公営企業の経営状態の悪化の度合いを示す比率です。すべての会計で資金不足はありませんでしたので「—」と表示しています

04 健全化判断比率	(単位：%)				
	令和2年度	令和元年度(参考)	早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	—	—	12.31	20	一般会計などを対象とした赤字額の程度
連結実質赤字比率	—	—	17.31	30	全会計を対象とした赤字額の程度
実質公債費比率	12.7	13.4	25	35	公債費とこれに準ずる経費の程度
将来負担比率	102.4	124.4	350		これから先の負担額の程度

※それぞれの比率が「早期健全化基準」「財政再生基準」を超えたときは、「財政健全化計画」「財政再生計画」を策定し、国や県の勧告を受けながら財政の健全化を図ることになります